

科目名	老年看護援助論Ⅱ		時期	時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員	2年次	前期・後期	30時間	1単位
科目設定理由	ライフサイクルにおける高齢者の特徴を身体的・心理的・社会的側面から理解し、対象の残存機能や強みを活かした援助技術および対象の生活の質の維持・向上を目指した視点から看護実践する基礎的能力を養う。また、老年看護における看護のプロセスについて、事例を展開する演習を通して理解することにより、老年看護の実践能力の向上を図ることを目的に当該科目を設定した。				
学習目標	1 老年看護における理論・概念を理解する 2 治療を必要とする高齢者の看護を理解する 3 高齢者の生活機能を整えるために必要な援助技術を習得する 4 老年期にある対象の問題を解決するための方法を考え記述できる				
授 業 計 画					
回数	項目	内 容			備 考
1	老年看護における理論・概念	1 老年看護における理論の活用 2 老年看護に役立つ理論・概念 (1) サクセスフルエイジング (2) ストレングスモデル			講義
2~3	治療を必要とする高齢者の看護	1 検査、薬物療法を受ける高齢者の看護 2 手術を受ける高齢者の看護 3 リハビリテーションを受ける高齢者の看護 4 入院治療を受ける高齢者の看護			講義
4~9	高齢者の生活機能を整える看護	1 日常生活を支える基本的活動 (1) 生活の基本となる日常生活動作 (2) 日常生活活動(動作)の評価 2 転倒・転落、廃用症候群の予防と援助 3 食事・食生活の援助 (1) 誤嚥予防の援助 (2) 脱水予防の援助 4 排泄(排尿・排便)の援助 (1) 排泄ケアの基本 (2) 排泄障害のケア 5 清潔・整容の援助 (1) 皮膚障害・かゆみ予防の援助 (2) 清潔の援助 6 生活リズムを整える援助 (1) 睡眠と覚醒の変化 (2) 生活リズム 7 高齢者におけるセクシュアリティ 8 高齢者の社会参加を促す援助 9 高齢者の状態・状況に応じたコミュニケーション (1) 難聴 (2) 視力障害			講義
10~14	事例展開	1 看護過程の考え方 2 事例展開の実際 (1) アセスメント (2) 看護上の問題点の明確化 (3) プランニング (4) 老年看護学実習で起こりやすいヒヤリ・ハットとその要因			講義 演習
15	試験	まとめ			
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学		北川 公子 他	医学書院	
	系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論		鳥羽 研二 他	医学書院	
	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術		任 和子 他	医学書院	
	看護がみえるvol. 4 看護過程の展開		医療情報科学研究所	メデック メディア	
参考図書・資料等					
評価方法	筆記試験・グループワーク・レポート・出席状況などを総合的に評価する				